

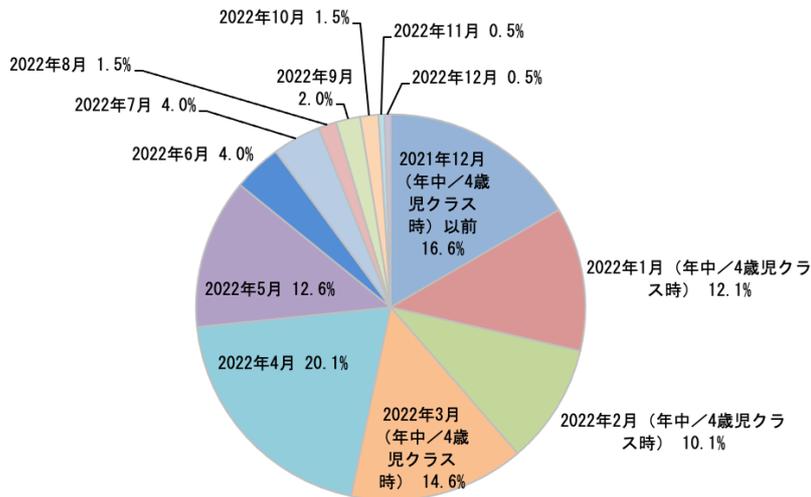
2023年度入学児のランドセル購入に関するアンケートを実施 年中のうちに資料請求した人が半数 「ランドセルを使ってほしい」と思う親は7割

幼稚園・保育園児とママ・パパの情報誌「あんふあん」「ぎゅって」（発行＝株式会社こどもりびんぐ／東京都千代田区、代表取締役：中島一弘）は、2023年度小学校に入学予定の子どもを持つママ・パパに対して、ランドセル購入に関するアンケートを実施しました。

■資料請求のタイミングは、年中12月以前～年長5月が多数。半数以上の人が年中のうちに準備

調査を実施した2022年12月時点ですでにランドセルを購入した349人のうち、資料請求をした人は57.0%。資料請求時期は2021年12月以前（年中／4歳児クラス時）～2022年3月（年中／4歳児クラス）までに請求した人が53.4%に上りました。

Q. 資料請求をした時期はいつ頃ですか？（回答数＝199）

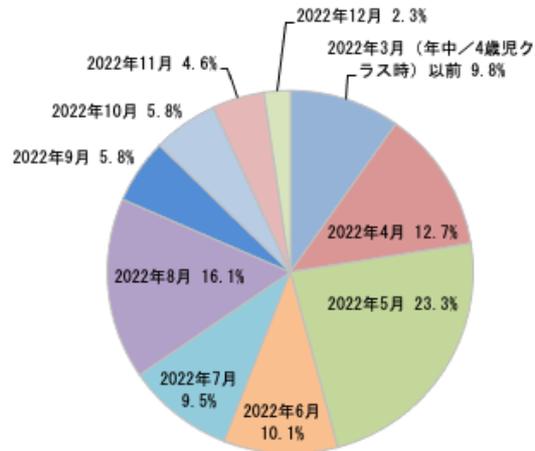


■購入は5月が最多。すでに購入した人の8割が、8月までに購入・予約済み

調査時すでにランドセルを購入（予約）したという人は84.7%。購入した時期は2022年5月が最多で、ついで2022年4月、8月と続きました。

多くの人「満足がいくランドセルが選べた」と答えた一方で、「子どもが選んだものが親としては不満」「子どもが満足するものを選べたか分からない」という声もありました。

Q. 実際にランドセルを購入（予約）したのはいつですか？（回答数 = 347）



【ランドセル選びでの失敗談】

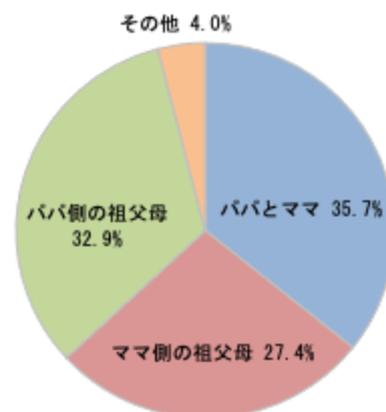
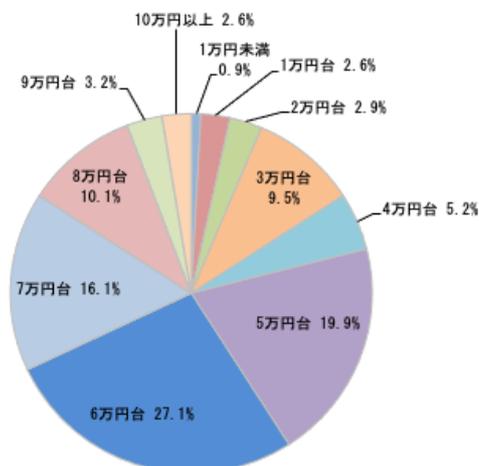
- ・親としては、もっとシンプルな飽きのこない色が良かった。（愛知県・女性）
- ・母としては本人が選べば何色でもいいと思っていましたが、父が女子向けカラーばかり勧めてしまいました。娘は、「お父さんが勧めたから…」という選び方をしていたように感じたため、後悔が。本当はしっかり本人に選ばせてあげたかったなと少し残念。（愛知県・女性）
- ・ランドセル本体にリフレクションが少ないのは不満。リフレクション付きのランドセルカバーを購入しました。（埼玉県・女性）

■ 価格帯は 6 万円台が最多の 27.1%

購入したランドセルの価格帯は、6 万円台が最多の 27.1%、ついで 5 万円台（19.9%）、7 万円台（16.1%）。主な出資者は、「パパとママ」「パパ側の祖父母」「ママ側の祖父母」がほぼ並ぶ形でした。

Q. 購入したランドセルの価格帯（税込み）を教えてください（回答数 = 347）

Q. ランドセル購入の主な出資者は誰ですか？（回答数 = 347）

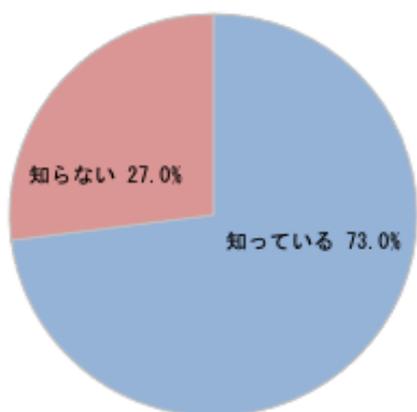


■ランドセル以外の“通学バッグ”を「知っている」人が 7 割。「ランドセルを使ってほしい」と思うママ・パパは、7割以上

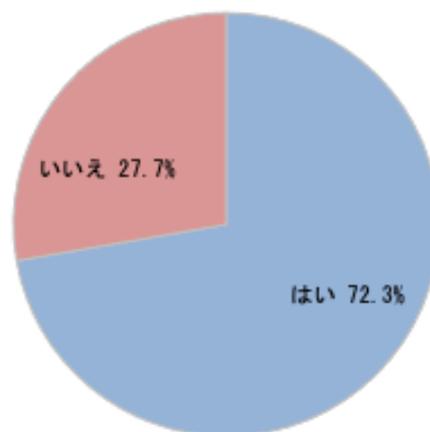
ランドセル以外の“通学バッグ”導入を開始する自治体があつたりと、ランドセルについてさまざまな意見が聞かれますが、入学予定の学校がランドセル指定か聞いたところ、「ランドセル指定ではない」と回答した人は 48.3%に上りました。

「革ではなく、ナイロンやポリエステルでできた通学用バッグがあることを知っていますか？」という質問には、「知っている」と回答した人が 73.0%。また、「あなたはお子さんに（通学用バッグではなく）ランドセルを使ってほしいと思いますか？」と聞いたところ、「はい」と答えた人が 72.3%でした。「ランドセルを使ってほしい」という意見としては「日本の文化の一つだと思うから」「小学生のシンボルだから」「6 年間使うものなので、長持ちしてほしいから」という声が集まった一方で、「いいえ」と答えた人は、「通学バッグの方が軽く、体に負担がかからなそうだから」などの意見がありました。ランドセルは子どもの体への負担減に対する期待が高まり、通学バッグは丈夫さを懸念する声が多く今後の進化に注目が集まりそうです。

Q. 革ではなくナイロンやポリエステルなどでできた通学用バッグがあることを知っていますか？
(回答数 = 411)



Q. あなたはお子さんにランドセルを使ってほしいと思いますか？ (回答数 = 411)



【調査概要】

期間：2022 年 12 月 9 日～12 月 22 日

「あんふあん Web」「ぎゅって Web」会員に対し Web で調査を実施。

【回答者プロフィール】全国の 2023 年 4 月に小学 1 年生になる子どもがいる親 412 人。年代／29 歳以下 0.7%、30～34 歳 16.5%、35～39 歳 43.2%、40～44 歳 28.4%、45 歳以上 11.1%

NEWS RELEASE

**「あんふあん」はママ・パパの実体験やクチコミを元にした
「ママ・パパ、そして子どもが主役」のフリーマガジンです**

発行エリア／全12版（東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・北海道・東北・静岡・関西・東海
・広島・九州 ※東北・広島・栃木は年5回、静岡は年4回発行）

発行部数／12エリア計約75万2500部

配布形態／幼稚園を介して先生から園児、ママへ手渡しされます

<https://enfant.living.jp/ebook/>

あんふあんWeb <https://enfant.living.jp/>



「ぎゅって」は共働き家族の気持ちに寄り添うフリーマガジンです

発行エリア／全3版

（首都圏・関西・東海※ただし、東海は年4回発行）

発行部数／3エリア計 約38万6700部

配布形態／保育園を介して先生からママへ手渡し、または連絡BOXやバッグに入れて手元に届きます

<https://gyutte.jp/magazine>

ぎゅってWeb <https://gyutte.jp/>



■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社こどもりびんぐ メディア統括部 担当：宮本・岡崎

TEL：03-5244-5761 E-mail：enfant@kodomoliving.co.jp